



いろいろな遊びの中で体を動かす

園長 立石 晃子

長雨が続く、その上雨は台風、豪雨と規模が大きく、「今日もお外で遊べない」ということが大人も子供も普通になってきてしまっています。危機的な状況と感じます。そのような日々を過ごしていますが、南千住第二幼稚園の教師や子供たちは、雨がやんだ瞬間を見つけるとはっと我に返り、「今ならお外で遊べる!」と外遊びを思い出し、園庭に飛び出していきます。2学期は砂場や泥山、色水遊びといった「静」の遊びに加え、「動」の遊びが活発になっています。学級で教師の「ようい、どん!」の声掛けで走るかけっこを経験した年少組の子供たちは、自ら「ようい、どん!」と言って走り出し、その様子に周りの友達も加わって（「ようい、どん!」の声に思わず脊髄反射のように反応してしまって走っていてもいいようです）友達と一緒にかけっこを楽しんでいます。年中組は教師や保護者の方に鬼になってもらい鬼ごっこも楽しんでいます。年長組は短縄跳びに挑戦している姿があります。遊戯室や体育館では各学年がリズムを踊っています。教師とのつながりの中で、教師が楽しく元気に踊ると子供たちも楽しんで体を思い切り動かして踊っています。廊下や保育室では思わずリズムの曲を口ずさんでいる子がいます（鼻歌がよく聞こえてきます）。汐入小学校の体育館をお借りして、年長組は毎日リレーに取り組み、「今日は勝った!」「今日は引き分け」と勝敗を楽しんでいます。年長組が先に取り組んでいたバルーンに年中組が加わり、年長組にリードされたり声を掛けてもらったりしながらバルーンの技に挑戦し、繰り返すことで精度が高まっているところです。



10月10日(土)には運動会が行われます。幼稚園で大切にしているのは、見せることがねらいではなく、自分の体が前よりも動かせるようになっていく喜び（自己実現や自己肯定感）、友達と体を動かしたり動きを合わせたりすることが楽しい、と「体を動かすことが楽しい」と感じられることがねらいです。幼稚園教育要領「健康」の領域のねらいに、「(2)自分の体を十分に動かし、進んで運動する」、内容には、「(2)いろいろな遊びの中で十分に体を動かす」「(4)様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む」とあります。大切なのは、運動は特定のスポーツで動きを繰り返したり強化したりしてできるようにするのではなく、「いろいろな遊び」の中で体を動かし、「楽しい」と感じ、運動への意欲を高めることです。令和元年度スポーツ庁「体力・運動能力調査」では、幼児期の運動遊びと運動能力等の相関が示され、「幼児期に外遊びをよくしていた小学生は、日常的に運動し、体力も高い」ことが明らかになっています。運動習慣は100年を生きる子供たちの健康につながります。幼児期に体を動かすことの楽しさ、心地よさ、気持ちよさを味わい、運動習慣・体力が幼児期以降につながることを見通し、運動遊びに取り組んでいきます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

<3 歳もも組>

みんなで「よーいどん！」走るのって楽しいね！

先日のなかよし会では、祖父母の方々を前にして緊張する様子もありましたが、学級で親しんでいた歌を披露したり、好きな遊びを一緒に楽しんだりすることができました。ふれあい遊びも楽しみ、笑顔が溢れる温かい時間になりました。

今年は雨の多い9月となりましたが、子供たちは遊戯室で巧技台を使って遊ぶことを楽しんだり、束の間の晴れた日には、園庭に出て、教師や友達と一緒に「よーいどん！」と思い切り走る心地よさを味わったりしています。走り終わると、「もう1回！」と繰り返しかけっこを楽しむ姿が見られています。みんなで音楽に合わせて踊ることも好きになり、思い思いに体を動かしています。もうすぐ運動会があります。初めての運動会に年少組なりにイメージや期待を膨らませ、教師や友達と楽しく参加できるように取り組んでいきます。

<4 歳たんぼ組>

体を動かすって楽しい！友達と一緒にだともっと楽しい！

午前も午後も「園庭行ってきます！」の声がたくさん聞こえてくるたんぼ組です。鬼ごっこ、フウセンカズラやブドウの実集め、砂場でのチョコレート作りなど、体を動かしたり、自然に触れたりしながら、1学期に引き続き戸外遊びに夢中です。

たんぼ組では、宇宙のイメージで体を動かすことを楽しんでいます。（宇宙人の）ピピくんから手紙が来ることを喜んだり、「見てくれているかも？」と想像を膨らませたりしながら、リズムや玉入れ遊びに取り組んでいます。楽しいイメージを共有していく中で、「みんなでやりたい」「今日のみんなで遊ぶ時間は何するの？」と友達と一緒に活動する楽しさも感じているようです。運動会が近づいてきたことも楽しみにしています。嬉しさ、緊張、悔しさなど、様々な気持ちを感じる姿を認め、支えながら、引き続き学級の友達と一緒に取り組む楽しさを感じられるようにしていきます。

<5 歳ばら組>

運動会、みんなで心を合わせて最後まで頑張るぞ！！

季節が秋に移行し始め、トンボも園庭に遊びに来ています。子供たちは虫網を持って走ったり、園庭にできた植物を使って、パプリカジュースやミカンジュース、ぶどうケーキなどを作ったりして楽しんでいます。幼稚園最後の運動会に向け、みんなで全力で取り組んでいます。幼稚園で1番大きな年長組として、自分たちの役割を考えながら行っています。「どんな運動会にしたい？」と担任が聞くと「楽しい運動会!」「かっこいい運動会!」などと話が出てきました。「どうしたらそうなるか考えてみよう!」と昨年度の運動会を振り返りながら、たくさん“ばらぐみかいぎ”を行いました。今年の親子競技は“おんぶ騎馬戦”「何がいいかな?」「お家の人とリレーして勝負したい!」などと意見も出ました。実際に体を動かしてみると・・・「これがいい!!」と全員一致で騎馬戦になりました。当日、盛り上がることも間違いなしですね。それぞれの得意なことや苦手なことを受け止め、一人ひとりの頑張っている姿やその過程を十分に認めて自信につなげ、他学年との交流に活かしたり、小学生との交流とも合わせて就学への期待につなげたりしていきます。